

E-Railさいたまについて

さいたま市青年選挙サポーターの会「E-Rail さいたま」の設立

さいたま市選挙管理委員会が働きかけ、若年層の投票率向上を目指し、若年層の選挙及び政治への意識改革をするためにはどうしたらよいかを若者自身で考えてもらうことを目的とし、平成20年1月19日（土）に設立されました。

「E-Rail^{い-れ-る}さいたま」とは？

「E-Railさいたま」の「E」は、「Election（選挙）」を「Rail（線路）」は、「未来に続く・つながる」を意味します。

また、「E-Rail」は「イレル」と呼べることから「選挙で1票を入れる」ことを、そして、その1票が明るい未来につながっていくことを意味します。

会員について

- 現在は大学生20数名程度で、選挙出前講座を中心に活動中。

主な活動

- 市選挙管理委員会との協力

選挙出前講座

将来有権者となる児童・生徒に、選挙の仕組みや大切さを学習してもらうため、E-Rail 会員が中心となり主に以下の流れで実施している。模擬投票に使用する選挙機材は市選挙管理委員会が用意。

- ・選挙ミニ講座（選挙の仕組みや大切さ、投票率の現状などの話）
- ・模擬投票（E-Rail 会員が候補者となり演説を行う）
- ・選挙クイズ
- ・感想インタビュー

明るい選挙推進協議会の研修への参加

- （公財）明推協の事業参加

若者リーダーフォーラム等への参加

全国で活動している若者団体と意見交換を行っています。

